

JIS

ステンレス鋼鋳鋼品

JIS G 5121 : 2003

(JSCFA/JSA)

(2008 確認)

平成 15 年 6 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木原 諄 二	日本大学
(委員)	大河内 春 乃	東京理科大学
	大橋 守	新日本製鐵株式会社
	岡 實	財団法人日本海事協会
	加藤 碩	ステンレス協会
	國府 勝 郎	東京都立大学
	佐久間 健 人	東京大学
	三宮 好 史	社団法人日本鉄鋼連盟
	中島 將 文	社団法人日本鉄道施設協会
	長瀬 忍	高圧ガス保安協会
	福永 規	住友金属工業株式会社
	松田 邦 男	JFE スチール株式会社
	山内 学	株式会社神戸製鋼所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 31.5.25 改正：平成 15.6.20

官 報 公 示：平成 15.6.20

原 案 作 成 者：日本鑄鍛鋼会

(〒101-0047 東京都千代田区内神田 1 丁目 14-4 四国ビル別館 TEL 03-5283-1611)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員長 木原 諄二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本鑄鍛鋼会 (JSCFA)／財団法人 日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS G 5121 : 1991** は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO 11972 : 1998** (Corrosion-resistant cast steels for general applications) を基礎として用いた。

JIS G 5121 には、次に示す附属書がある。

附属書 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 一般納入条件	2
4. 種類の記号	2
5. 化学成分	3
6. 機械的性質	6
7. 耐食性	10
8. 形状及び寸法	10
9. 外観	10
10. 健全性	10
11. 製造	10
11.1 製造方法の一般事項	10
11.2 熱処理	10
12. 試験	10
12.1 試験場所	10
12.2 分析試験	10
12.3 機械試験	10
12.4 硫酸・硫酸銅腐食試験	11
12.5 形状及び寸法の測定	11
12.6 外観試験	11
12.7 非破壊試験	11
13. 再試験	11
14. 検査	11
15. 表示	11
16. 報告	11
17. 追加要求事項	12
附属書（参考） JIS と対応する国際規格との対比表	13
解 説	18

ステンレス鋼鑄鋼品

Corrosion-resistant cast steels for general applications

序文 この規格は、1998年に第1版として発行された ISO 11972, Corrosion-resistant cast steels for general applications を元に、対応する部分（一般納入条件及び追加要求事項）については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にはない事項である。変更の一覧表を、その説明を付けて附属書に示す。

1. 適用範囲 この規格は、ステンレス鋼鑄鋼品（遠心力鑄鋼管を含む。以下、鑄鋼品という。）について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 11972 : 1998, Corrosion-resistant cast steels for general applications (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0307 鑄鋼品の製造、試験及び検査の通則

備考 ISO 4990 : 1986 Steel castings—General technical delivery requirements からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS G 1211 鉄及び鋼—炭素定量方法

JIS G 1212 鉄及び鋼—けい素定量方法

JIS G 1213 鉄及び鋼—マンガン定量方法

JIS G 1214 鉄及び鋼—りん定量方法

JIS G 1215 鉄及び鋼—硫黄定量方法

JIS G 1216 鉄及び鋼—ニッケル定量方法

JIS G 1217 鉄及び鋼中のクロム定量方法

JIS G 1218 鉄及び鋼—モリブデン定量方法

JIS G 1219 鉄及び鋼—銅定量方法

JIS G 1228 鉄及び鋼—窒素定量方法

JIS G 1237 鉄及び鋼—ニオブ定量方法

JIS G 1238 鉄及び鋼—クロムの定量方法—電位差又は目視滴定法